

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成26年6月24日

兵庫県知事 殿

提出者

住所

氏名

兵庫県たつの市龍野町中井236
ナガセケムテックス株式会社
取締役 播磨事業所長 志水修三

電話番号

0791-63-9084

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| 事業場の名称 | ナガセケムテックス株式会社 |
| 事業場の所在地 | 兵庫県たつの市龍野町中井236 |
| 計画期間 | 平成26年4月1日から平成27年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ① 事業の種類 | 1639 (その他の有機化学工業製品製造業) |
| ② 事業の規模 | 製品売上高 約262億円 (平成25年度実績) |
| ③ 従業員数 | 約480名 |
| ④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙1のとおり |

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別図1のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | |
|-----|--|---------|
| ①現状 | 【前年度（平成 25年度）実績】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙2のとおり |
| | 排 出 量 | t |
| | (これまでに実施した取組) 製造工程時不良品量を削減し、産業廃棄物発生量を削減。 廃棄物の分別を推進し、適正処理を行う。 | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙2のとおり |
| | 排 出 量 | t |
| | (今後実施する予定の取組) 廃棄物の削減 資源リサイクルの推進。 環境にやさしい開発テーマに取り組む。 環境に配慮した工程改良を行う。 | |

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|--|
| ①現状 | (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別管理産業廃棄物の種類別に表示し区分けし保管。 各部署からの廃棄物を分別の推進。 |
| ②計画 | (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の成分を調査し、廃棄物の分別サーマル化を推進。 |

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

| | | | |
|-----|-------------------------|-----|-----|
| ①現状 | 【前年度（平成 25年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (これまでに実施した取組) 特になし。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (今後実施する予定の取組) 特になし。 | | |

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

| | | | |
|-----|--------------------------|-----|-----|
| ①現状 | 【前年度（平成 25年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (これまでに実施した取組) 特になし。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (今後実施する予定の取組) 特になし。 | | |

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

| | | |
|-----|------------------------|-----|
| ①現状 | 【前年度（平成 25年度）実績】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — |
| | 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 | 0 t |
| | (これまでに実施した取組) 特になし。 | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — |
| | 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 | 0 t |
| | (今後実施する予定の取組) 特になし。 | |

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

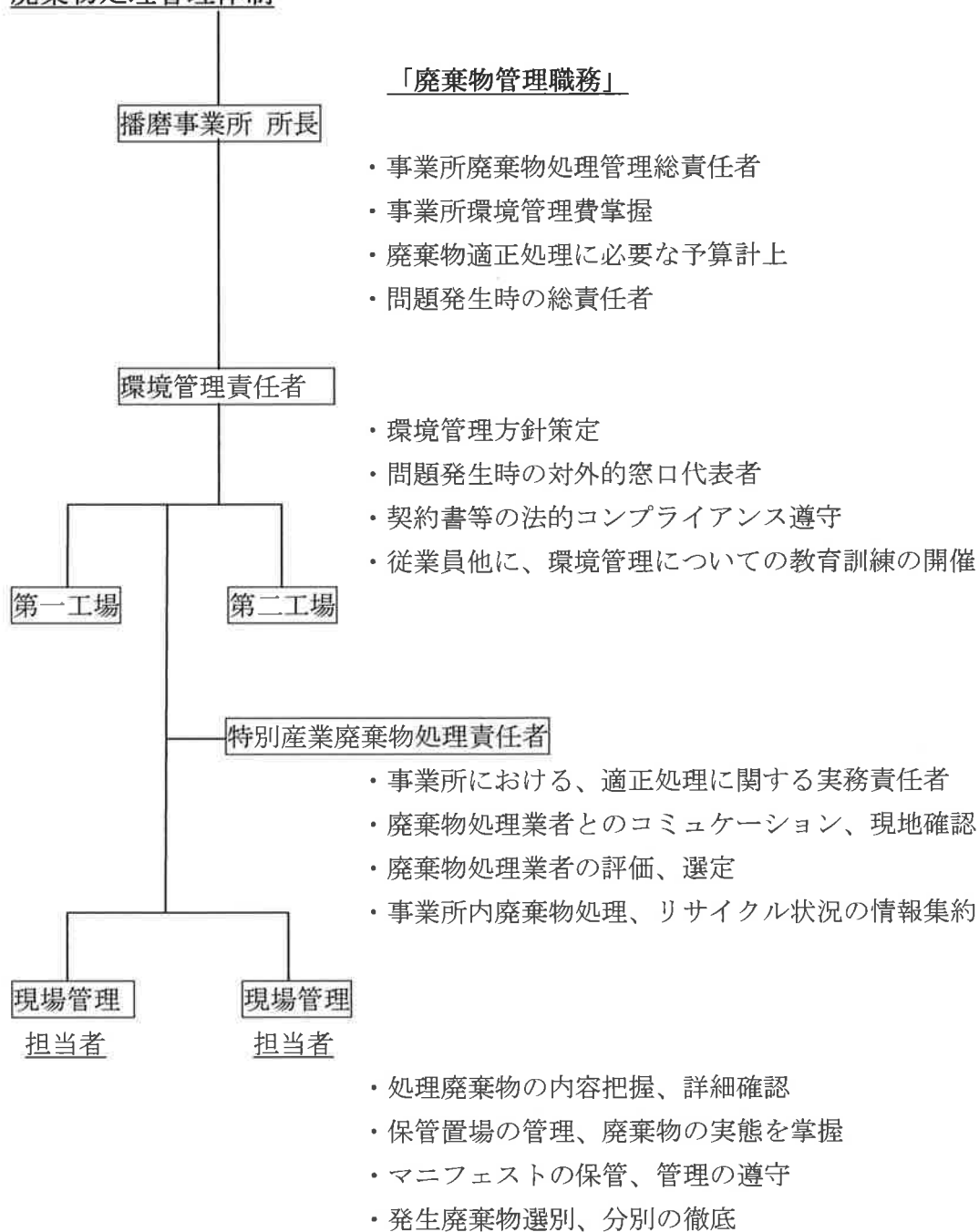
| | | |
|-----|--|---|
| ①現状 | 【前年度（平成 25年度）実績】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — |
| | 全処理委託量 | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t |
| | (これまでに実施した取組) 製造工程時不良品量を削減し、産業廃棄物発生量を削減。 廃棄物の分別を推進し、適正処理を行う。 | |

| | | |
|--------|---|-----------|
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — |
| | 全処理委託量 | 別紙2のとおり t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t t |
| | (今後実施する予定の取組) 廃棄物の削減 資源リサイクルの推進。 環境に配慮した工程改良を行う。 特別産業廃棄物の成分調査を行い、サーマルリサイクルの推進。 | |
| ※事務処理欄 | | |

備考

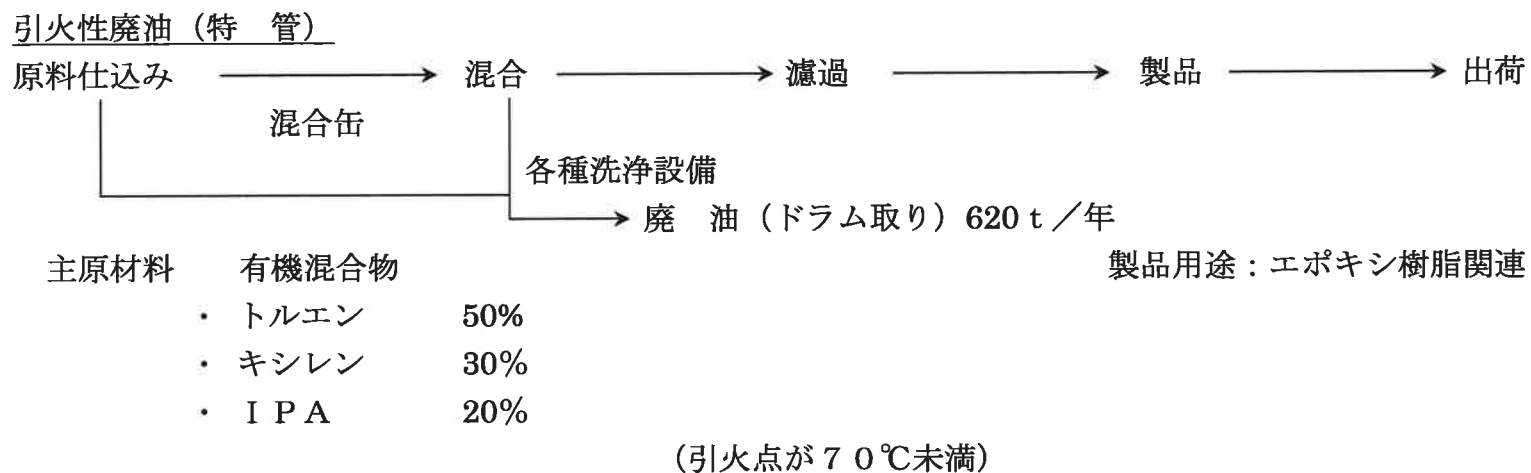
- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理管理体制



特別管理産業廃棄物の排出経路図

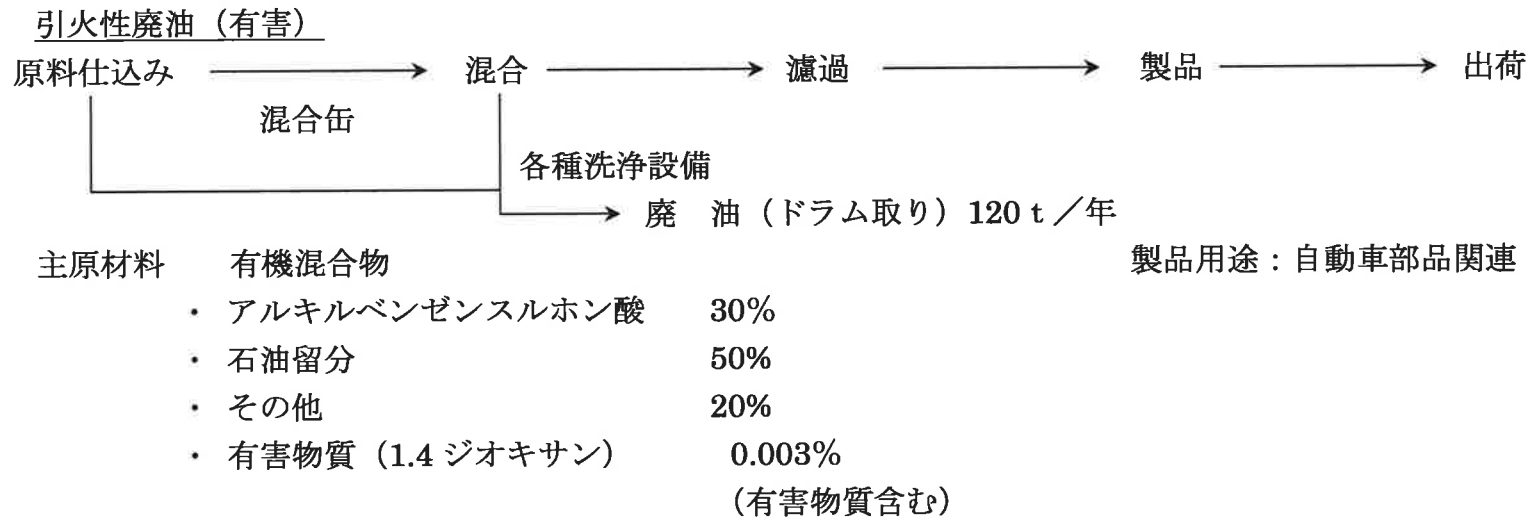
別紙 1



- ・ 引火性廃油（特管）→ 収集運搬（委託：クリーン湯ノ内）→ 焼却（委託：西番商事）
- ・ 引火性廃油（特管）→ 収集運搬（委託：クリーン湯ノ内）→ 焼却（委託：エコシステム山陽）
- ・ 焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分（委託：大阪湾広域臨海環境整備センター・財団法人岡山県環境保全事業団）

特別管理産業廃棄物の排出経路図

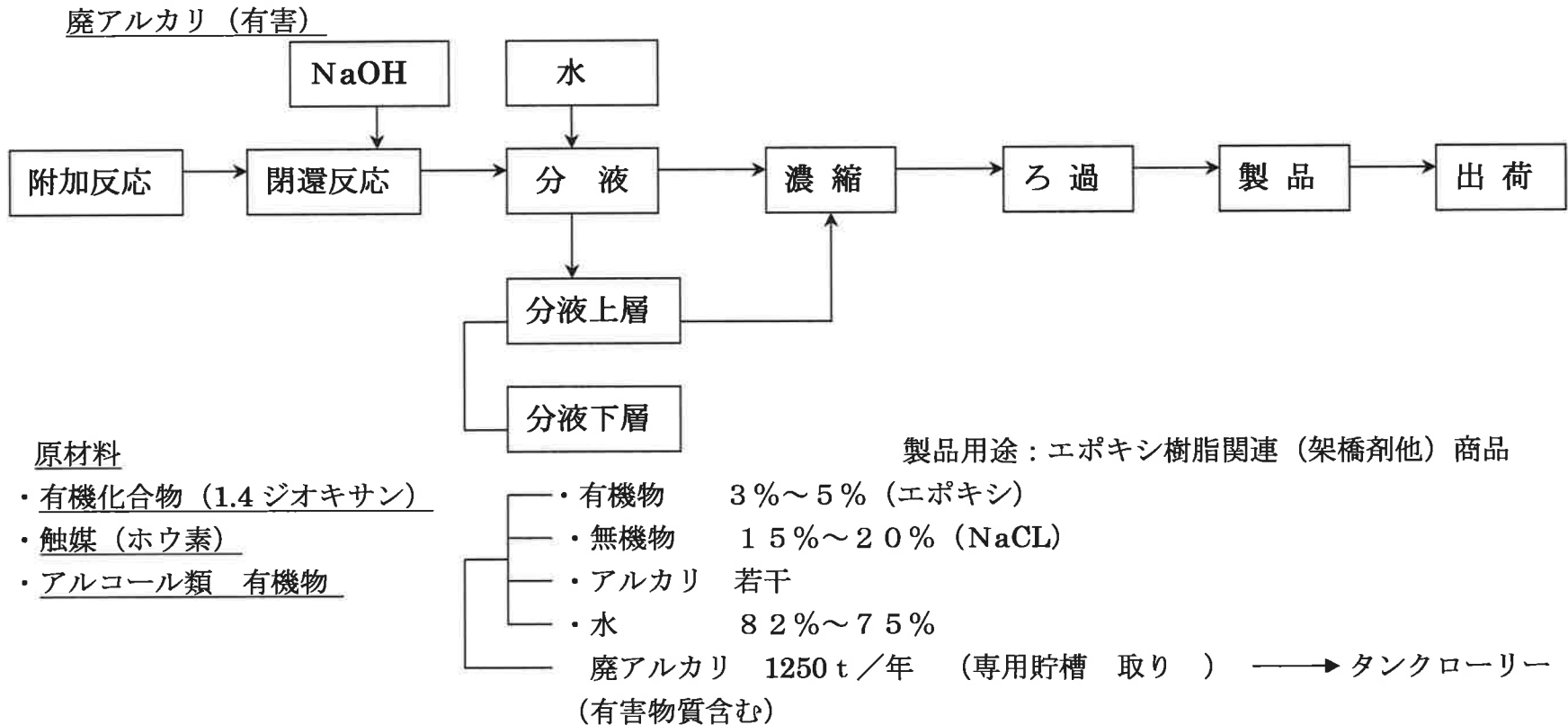
別紙1



- ・ 引火性廃油（有害） → 収集運搬（委託：クリーン湯ノ内） → 焼却（委託：エコシステム山陽）
- ・ 焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分（委託：財団法人岡山県環境保全事業団）

特別管理産業廃棄物の排出経路図

別紙 1



原材料

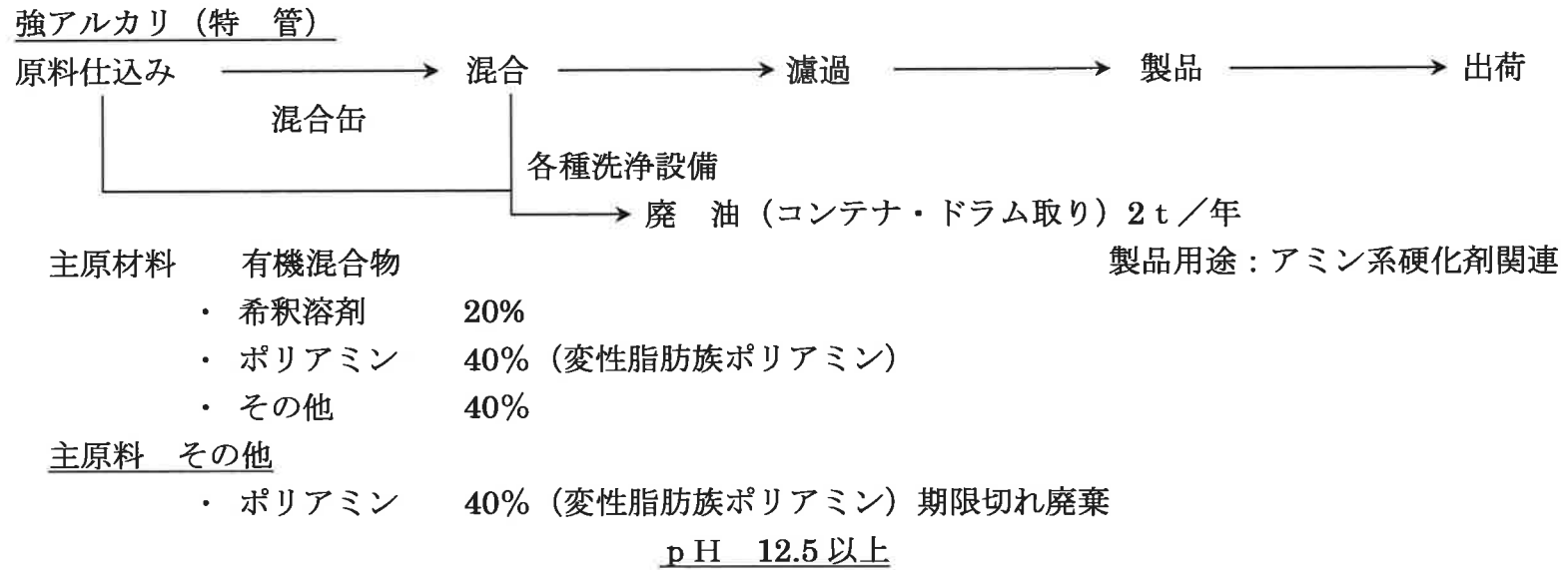
- ・ 有機化合物 (1.4 ジオキサン)
- ・ 触媒 (ホウ素)
- ・ アルコール類 有機物

製品用途：エポキシ樹脂関連（架橋剤他）商品

- ・ 廃アルカリ (有害) → 収集運搬 (委託：クリーン湯ノ内) → 焼却 (委託：エコシステム山陽)
- ・ 焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分 (委託：財団法人岡山県環境保全事業団)

特別管理産業廃棄物の排出経路図

別紙 1



- ・ 強アルカリ (特管) → 収集運搬 (委託：クリーン湯ノ内) → 焼却 (委託：サンワ技研)
- ・ 強アルカリ (特管) → 収集運搬 (委託：クリーン湯ノ内) → 焼却 (委託：エコシステム山陽)
- ・ 焼却残渣は、管理型処分場に埋め立て処分 (委託：大阪湾広域臨海環境整備センター・財団法人岡山県環境保全事業団)

特別管理産業廃棄物の排出経路図

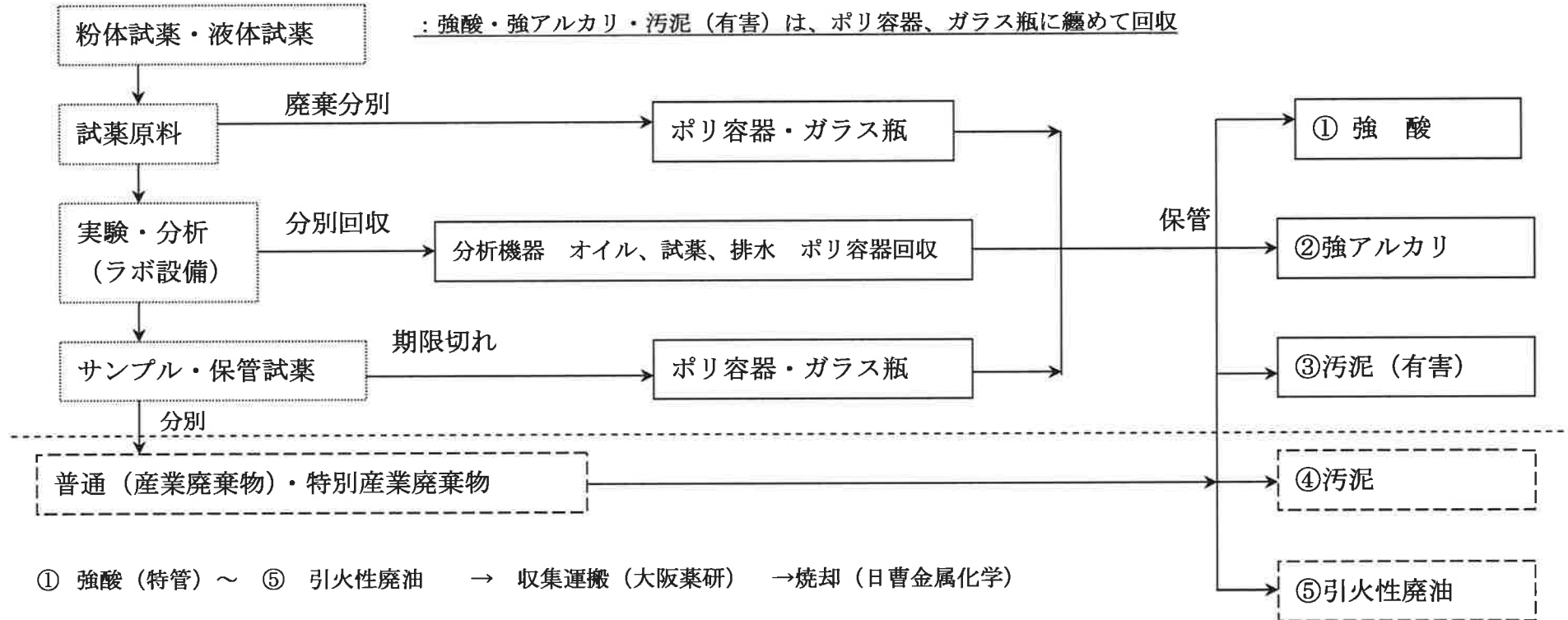
別紙 1

- 1 強 酸 (特 管)
- 2 強アルカリ (特 管)
- 3 汚 泥 (有害)
- 4 汚 泥 (普通)
- 5 引火性廃油 (特 管)

使用用途 : 分析 / 検査 / 実験

発生量 : ①強酸 (廃液) ②強アルカリ ③汚泥 (有害) 50 kg/年
 : ④汚泥 50 kg/年 ⑤引火性廃油 100 kg/年

研究設備



: 強酸・強アルカリ・汚泥 (有害) は、ポリ容器、ガラス瓶に纏めて回収

特別管理産業廃棄物処理計画における 実績

別紙2

平成25年4月～平成26年3月実績

| 特別産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | 引火性廃油(有害) | 廃アルカリ(有害) | 強アルカリ | 強酸 | 汚泥(有害) | - | - | 合計(t) |
|---------------------------|---------|-----------|-----------|-------|-------|--------|---|---|----------|
| 全処理委託量 | 621.648 | 126.2 | 1256.8 | 2.903 | 0.022 | 0.001 | - | - | 2007.574 |
| 優良認定処理業者への処理委託量 | 480.848 | 126.2 | 1256.8 | 0.003 | 0.022 | 0.001 | - | - | 1863.874 |
| 再生利用業者への処理委託量 | 140.8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 140.8 |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |

特別管理産業廃棄物処理計画における 目標値

平成26年4月～平成27年3月計画

| 特別産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | 引火性廃油(有害) | 廃アルカリ(有害) | 強アルカリ | 強酸 | 汚泥(有害) | - | - | 合計(t) |
|---------------------------|-------|-----------|-----------|-------|------|--------|---|---|----------|
| 全処理委託量 | 620 | 120 | 1250 | 2 | 0.02 | 0.002 | - | - | 1992.022 |
| 優良認定処理業者への処理委託量 | 480 | 120 | 1250 | 2 | 0.02 | 0.002 | - | - | 1852.022 |
| 再生利用業者への処理委託量 | 140 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 140 |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |